

## 口蓋扁桃摘出術後に投与する鎮痛薬別に見た鎮痛効果と術後出血の頻度 ：セレコキシブとロキソプロフェンの比較

口蓋扁桃摘出術は習慣性扁桃炎，睡眠時無呼吸症候群，扁桃病巣感染症，扁桃腫瘍など適応は多岐に渡ります。本術式の合併症として術後出血があります。また術後の鎮痛薬に関して施設ごとに差があり、鎮痛薬と術後出血の関係性も議論されています。

そこで鎮痛薬として選択的COX-2 阻害薬（セレコキシブ）と，従来型NSAIDs（ロキソプロフェン）を選択した場合の術後出血の頻度と，鎮痛効果について検討したいと考えています。

当院の倫理委員会にて承認された翌日より 1 年間に口蓋扁桃摘出術の加療をされた患者さんの診療情報を収集して解析を行います。この研究では、集計・解析に際して匿名化して情報を取り扱い、対象者の個人情報に厳重に保護しています。上記に該当する方で、この研究についてのご質問や研究協力の拒否を希望される方がございましたら、お手数ですが公立陶生病院耳鼻咽喉科担当医師（電話 0561-82-5101）までご連絡いただければ幸いです。

研究責任者：公立陶生病院 耳鼻咽喉科 杉浦 真（公立陶生病院 耳鼻咽喉科主任部長）

研究実施者：公立陶生病院 耳鼻咽喉科 福島 昌浩

研究協力者：公立陶生病院 耳鼻咽喉科 山本 遥子、石濱 未緒